

特別支援教育と作業療法

特別支援教育OTチーム5年間の 実践と成果、そして課題



京都府作業療法士会

特別支援教育OTチーム委員・副会長

加藤 寿宏

- 京都府士会5年間の事業内容
- 平成24年度パイロット事業内容
- 5年間の成果と課題

平成19年度 京都府作業療法士会 特別支援教育OTチーム設立目的

- 学校と個人の連携からシステムの連携へ
- 作業療法の啓発と地域貢献
- 学校（特に**通常の学級**）での子どもたちの姿を作業療法士が知る
 - 医療・福祉現場での支援内容の充実
 - 学校という集団・学びの場での具体的支援
- 作業療法士の卒後教育
- 教育への作業療法の雇用

作業療法推進活動パイロット事業

平成20・21年度

「特別支援教育と作業療法の連携と実践の促進」

平成22年度

「特別支援教育と作業療法の連携と実践を深める」

平成23年度

「特別支援教育と作業療法の連携
ー実践の検証とこれからー」

平成24年度

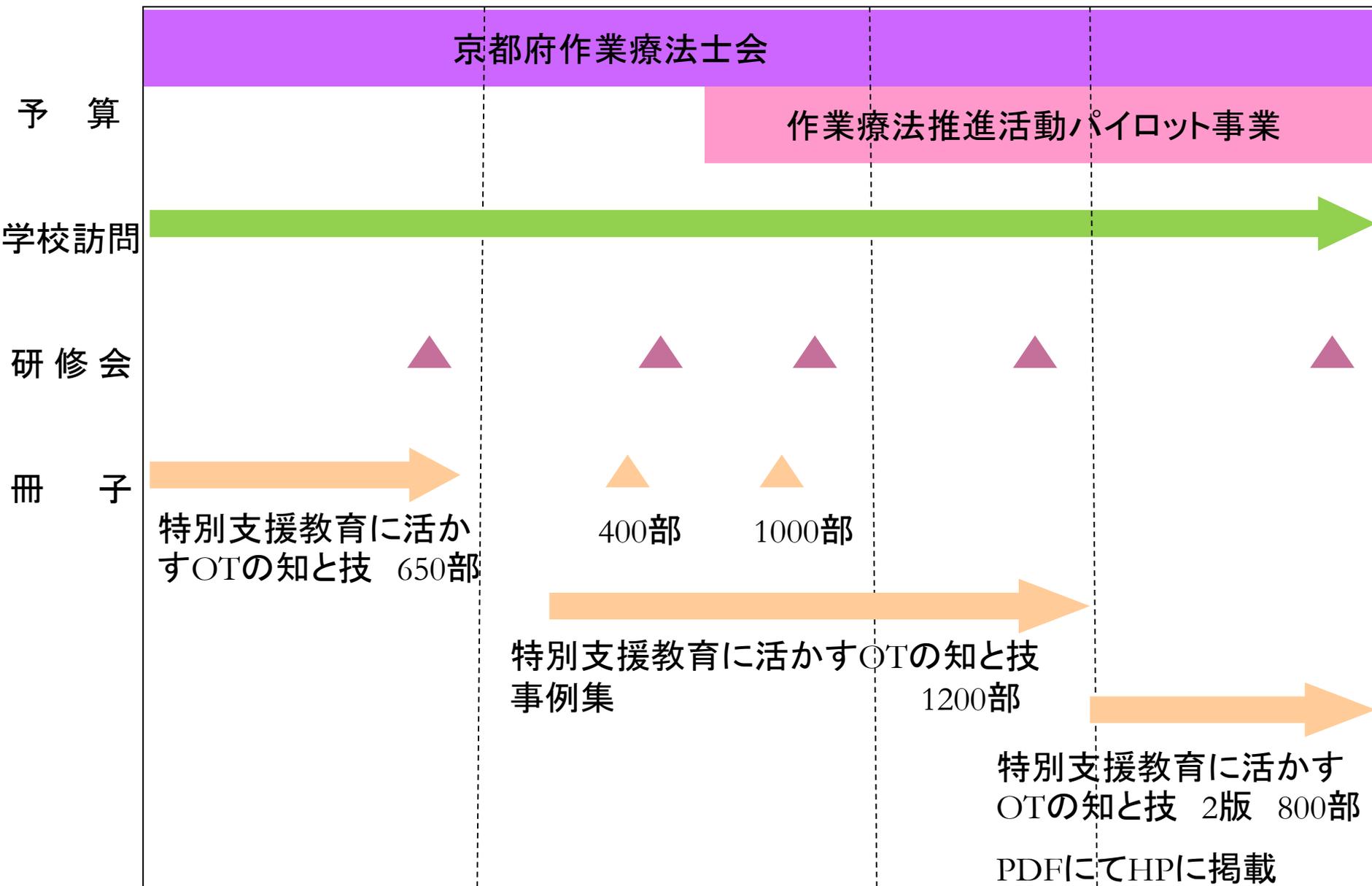
「特別支援教育における作業療法観察チェックリストの
開発 ー作業療法の効果を示すための一歩としてー」

平成19年度

平成20年度

平成21年度

平成22年度



平成23年度

平成24年度

平成25年度

予 算

京都府作業療法士会

作業療法推進活動パイロット事業

京都府

学校訪問

研 修 会

冊 子

特別支援教育と作業療法

協働の糸口を探る

100部

HPでPDFにて

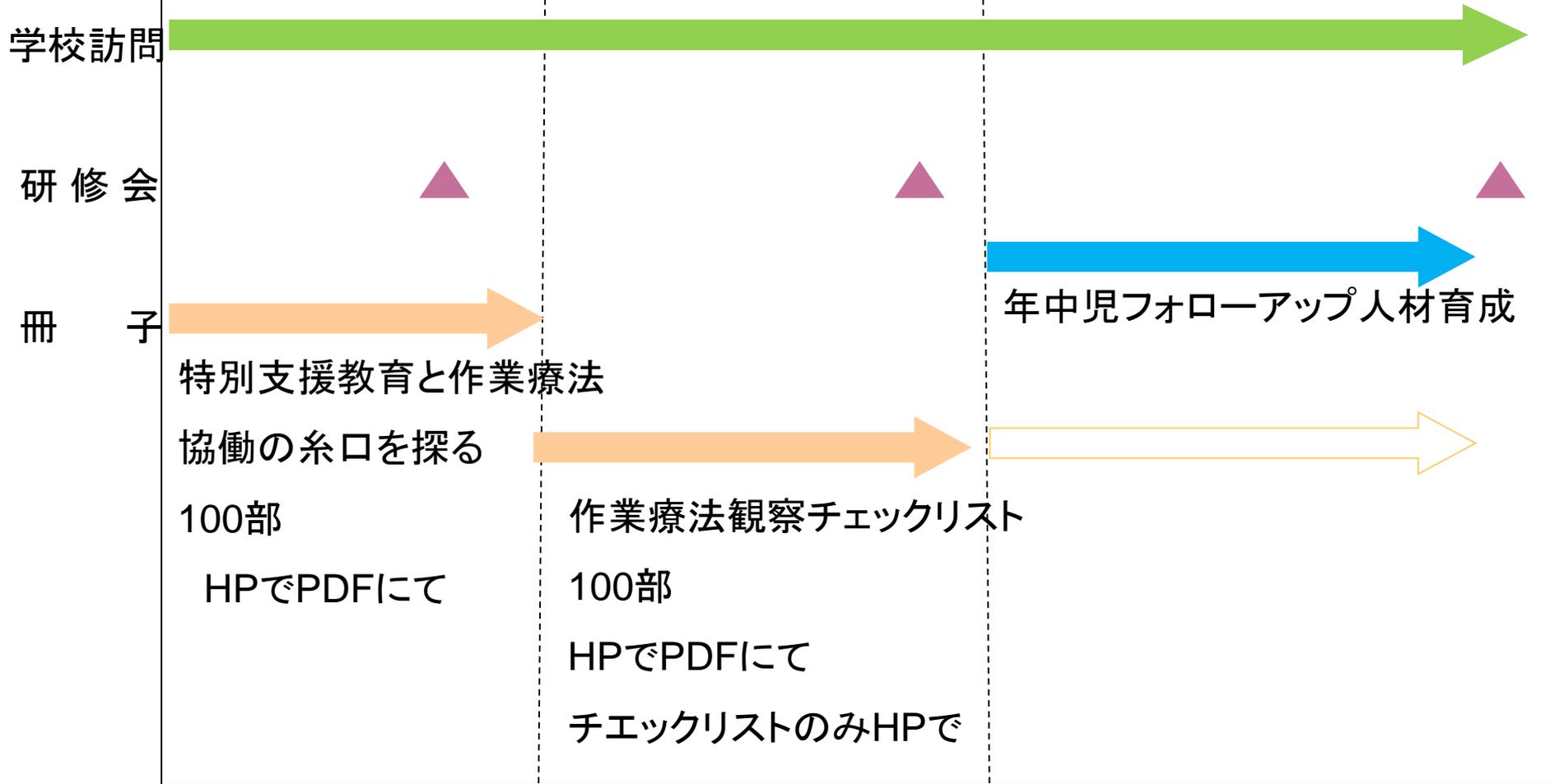
作業療法観察チェックリスト

100部

HPでPDFにて

チェックリストのみHPで

年中児フォローアップ人材育成



平成19年～24年(6年)の活動

- 学校訪問数 約450件
- 教員向け講演会 7回(計約800名の参加者)
- 冊子発行 5種類(計3,800部 + HP)
 - 特別支援教育に活かすOTの知と技(初版) 2000部
 - OTが出会った子どもたち 800部
 - 特別支援教育に活かすOTの知と技(2版) 800部 + HP
 - 特別支援教育と作業療法協働の糸口を探る 100部 + HP
 - 作業療法観察チェックリスト 100部 + HP
- 学会発表
 - 全国学会 4回
 - 近畿学会 1回
 - 日本LD学会自主シンポ 2回

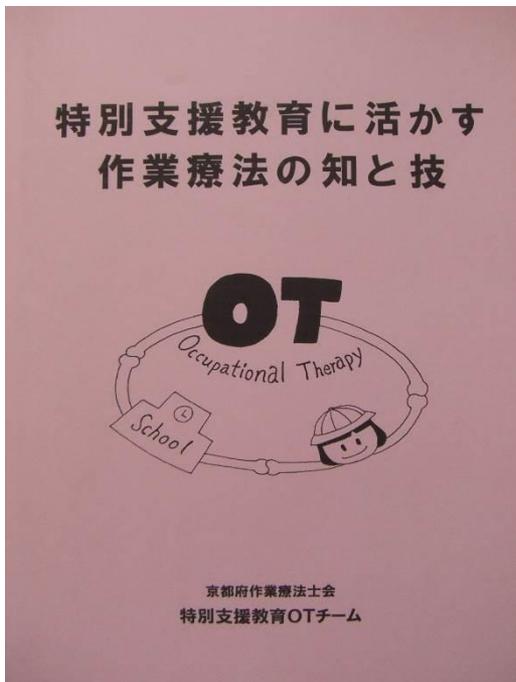


平成20年度

OTは何かできる？どんな風に子どもを捉える？



OTができることの内容を示す



- 学校でよく見られる子どもたちの姿に対し、OTがどのように考え支援できるのかをQ & A方式で示す。
- Q35と15キーワード

学校での事例を通して OTを知ってもらおう



- 保育所・幼稚園 2事例
- 小・中学校（通常）14事例
- 特別支援学校 5事例

■保育所・幼稚園の子どもたち

1. (年少) おとなしく、外遊びを好まないことを主訴とした事例 ————— 1
2. (年長) 幼稚園で朝の用意ができないことを主訴とした事例 ————— 5

■小・中学校の子どもたち

1. (小1) 文房具を噛むこと、縄やゴムを振り回すことを主訴とした事例 ————— 8
2. (小2) 左右の誤りによる書きの苦手さを主訴とした事例 ————— 11
3. (小2) 勝ちにこだわること、勝手にルールを変えることを主訴とした事例 — 15
4. (小2) 授業に参加しにくいこと、トイレに行けないことを主訴とした事例 — 18
5. (小2) ひらがなの書字が定着しないことを主訴とした事例 ————— 21
6. (小3) 興味のあることしかしないことを主訴とした事例 ————— 24
7. (小3) 道具操作(消しゴム、定規、コンパス、リコーダー)を主訴とした事例 — 26
8. (小3) 授業中にものを口に入れて噛んでいることを主訴とした事例 ————— 30
9. (小3) 指示が伝わりにくく、自分の世界に入ることを主訴とした事例 ————— 32
10. (小4) 算数の図形問題が苦手なことを主訴とした事例 ————— 34
11. (小5) 学習に時間がかかること、不器用なことを主訴とした事例 ————— 37
12. (小5) 整理整頓、文字がマス目に収まらないことを主訴とした事例 — 40
13. (中1) キレやすく対人関係が難しいことを主訴とした事例 ————— 43
14. (中1) 授業の進行に影響を及ぼす行動を主訴とした事例 ————— 47

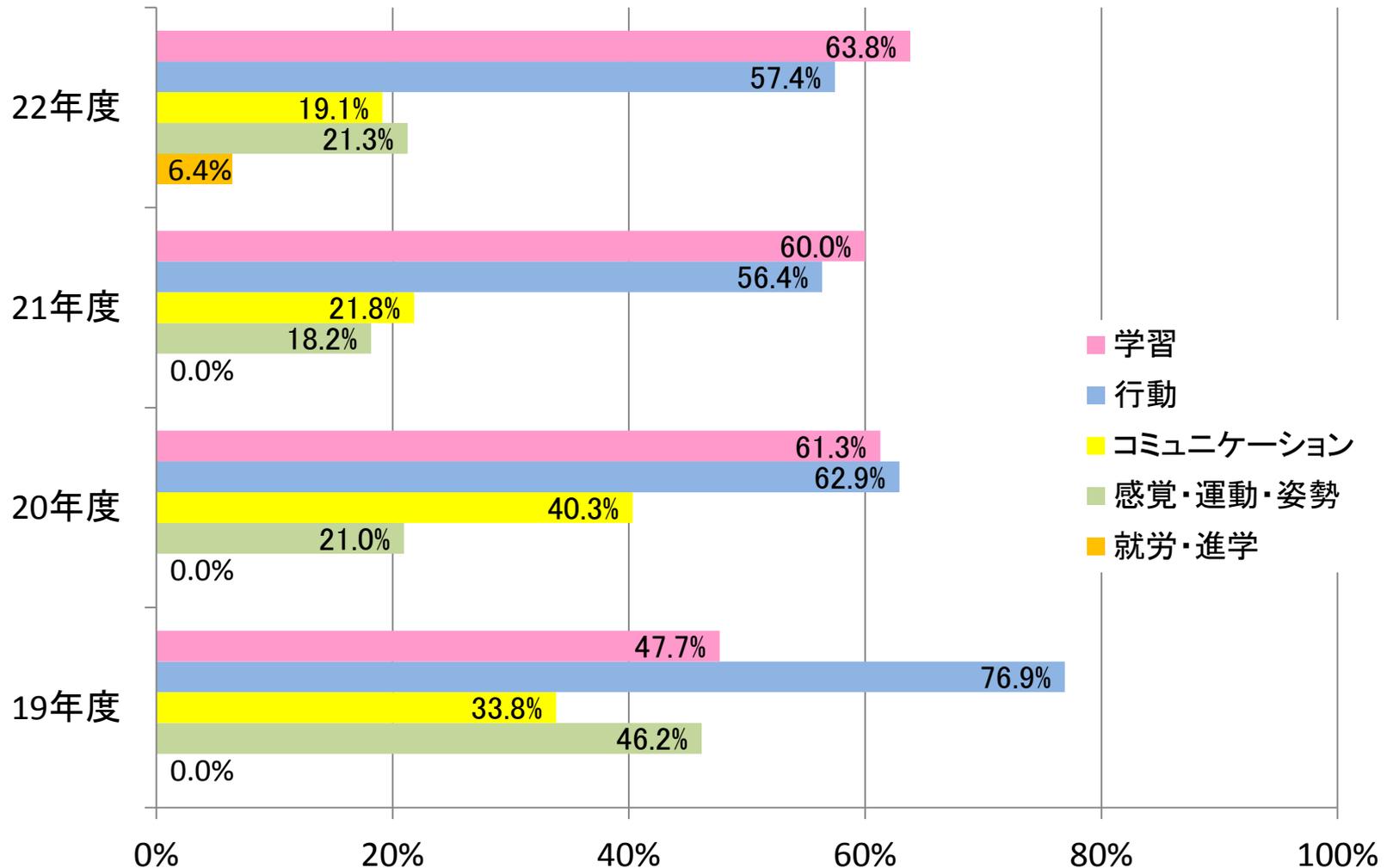
■特別支援学校の子どもたち

1. (小1) 活動への自主的な取り組みを主訴とした事例 ————— 50
2. (小4) 感触遊びが止められないことを主訴とした事例 ————— 53
3. (小6) 関わりの変化への拒否を主訴とした事例 ————— 56
4. (中1) 絵画活動で主体的な参加の促しにくさを主訴とした事例 — 60
5. (中2) 文化祭に出展するかばんの作製が難しかった事例 ————— 65

この冊子に登場する子どもたちは、OT チームが出会った事例をもとに作成していますが、個人情報
保護により、臨床像の解釈や支援に影響がない範囲内で、年齢、性別、エピソード等を変えています。名
前も架空のものです。また、この冊子で提案している内容はあくまでも一例です。一人一人の子ども
の個性に合わせて修正、応用することが必要です。

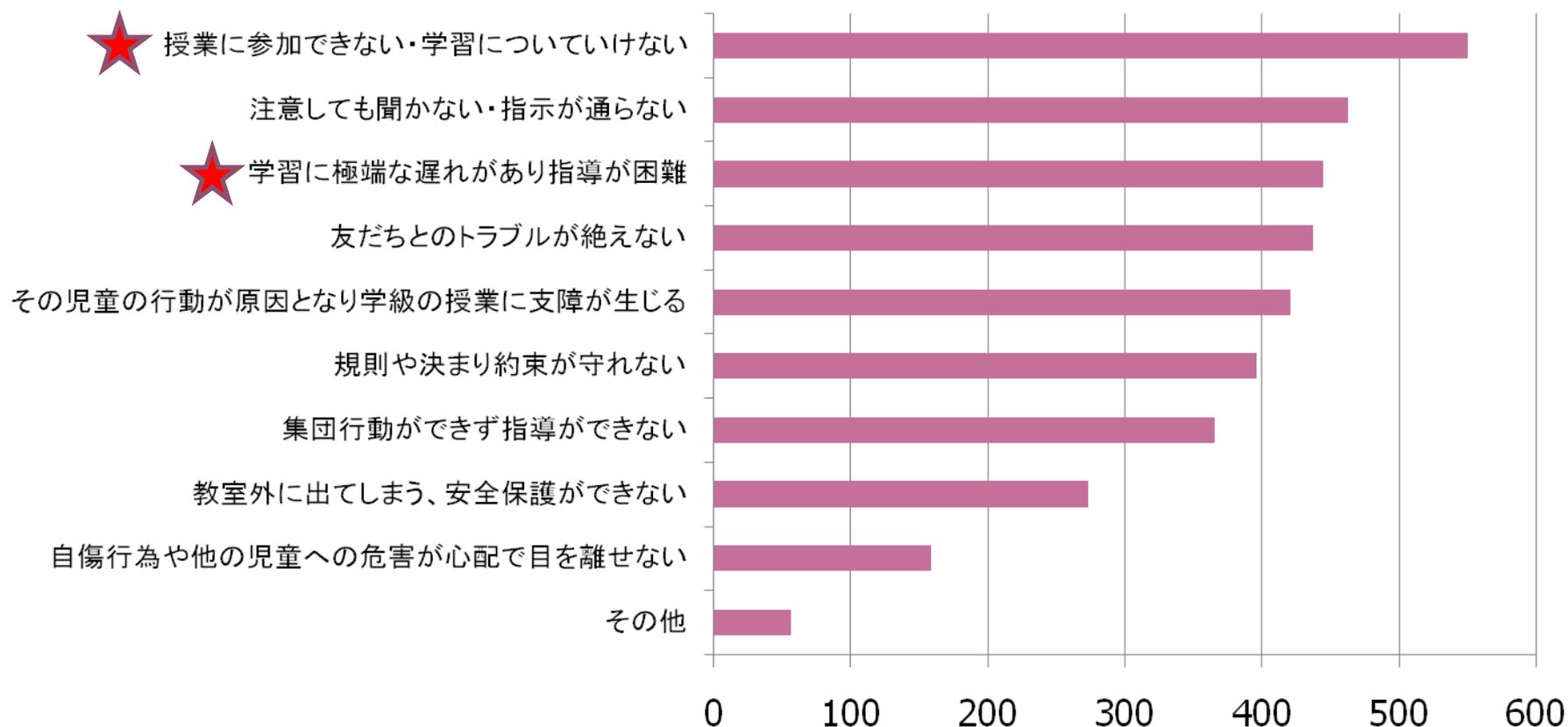
実際の子どもの理解や支援については、発達領域を専門とする作業療法士にご連絡ください。

相談事例の主訴(一事例で複数主訴) 特別支援学校・就学前除く



平成20年度全国連合小学校長会(全連小) 特別支援教育委員会調査結果

発達障害のある児童に対する指導で困っている内容 n=764

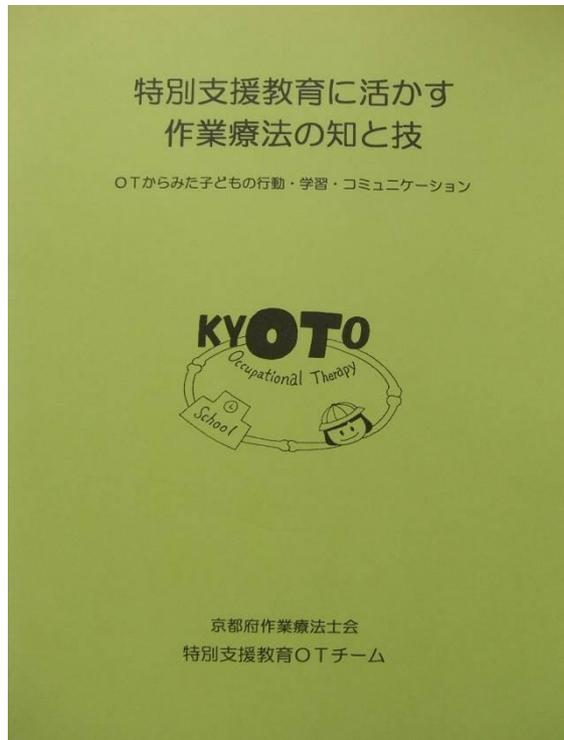


平成22年度

OTが支援できることの広がりを示す



教科・学習への支援（通常の学級）も可能



- 学校でよく見られる子どもたちの姿に対し、OTがどのように考え支援できるのかをQ&A方式で示す。
- 生活行動Q37と学習Q29
17キーワード

学 習

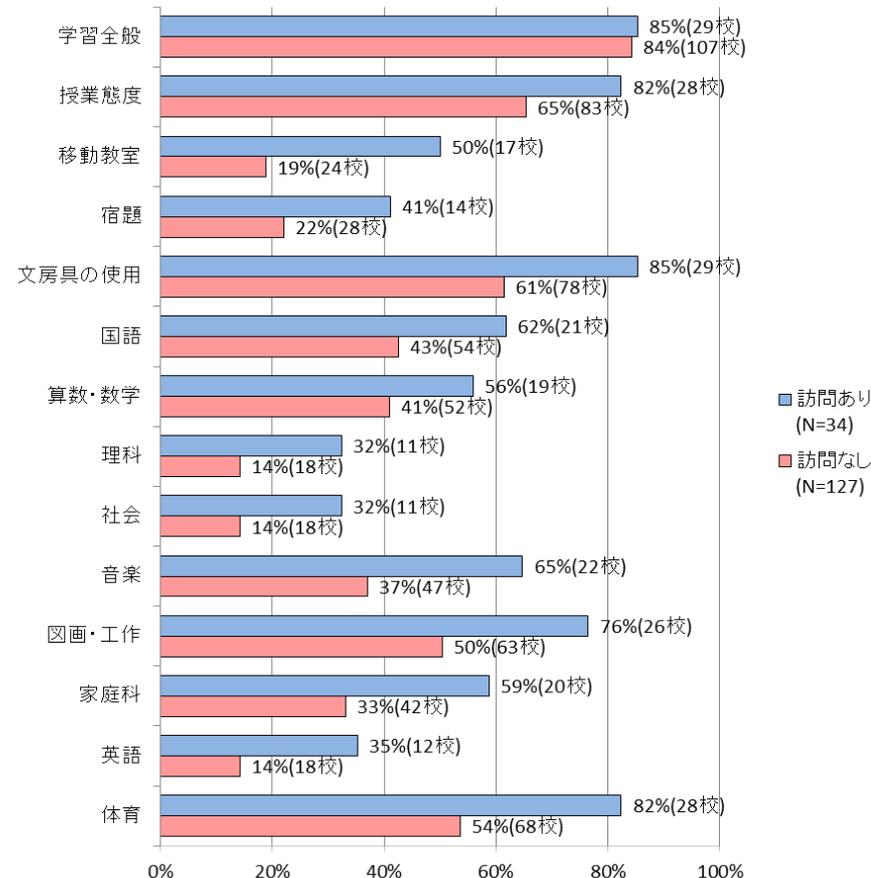
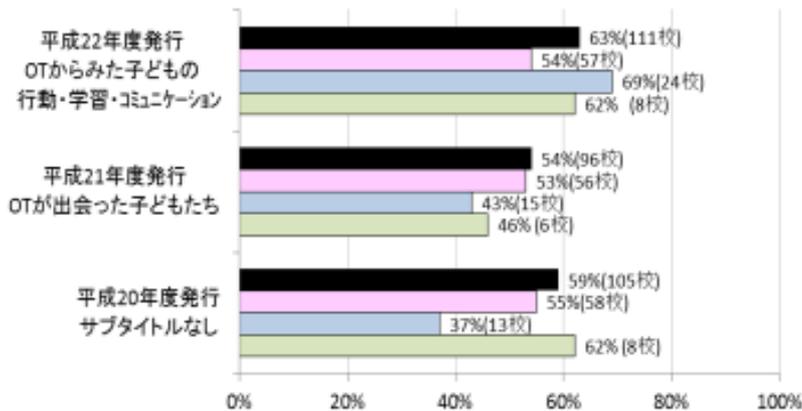
- Q38 鉛筆の持ち方がぎこちない -----
- Q39 筆圧が弱い、強い -----
- Q40 消しゴムで消すと紙が破ける、定規でまっすぐ線が引けない
- Q41 黒板からの書き写しがうまくできない -----
- Q42 文字の視写が難しい -----
- Q43 文字が書けない、覚えられない、すぐに忘れる -----
- Q44 鏡文字（左右が反転した文字）になる -----
- Q45 漢字のへんとつくりの位置関係を間違える -----
- Q46 漢字の書き順が覚えにくい -----
- Q47 文字がマスに入らない、解答欄に文字が収まらない --
- Q48 ひらがな一文字が読めない -----
- Q49 音読がたどたどしい -----
- Q50 助詞の使い方がおかしい -----
- Q51 「きゅうきゅうしゃ→きうきうしゃ」
「おもしろかった→おもしろかた」などになる ----
- Q52 作文など想起して書くことを嫌がる -----
- Q53 数え間違えることが多い -----
- Q54 指を使って計算をする -----
- Q55 足し算・引き算・掛け算の筆算が難しい -----
- Q56 割り算が難しい -----
- Q57 計算はできるが、文章問題を解くことが難しい -----
- Q58 立体的な絵が描けず、平面的な絵しか描けない
- Q59 立体の制作物を作ることが難しい -----
- Q60 はさみの使い方がぎこちない -----
- Q61 のりを使うことが苦手 -----
- Q62 他の絵と比較して人の絵がうまくかけない --
- Q63 縄跳びが難しい -----
- Q64 運動会の表現活動（ダンスや踊り）が苦手 --
- Q65 リズム、拍子をとることが難しい -----
- Q66 リコーダーを吹くことが難しい -----

平成23年度

OTチームの活動の成果と課題を確認する



アンケート・面接調査の実施



平成24年度

教育に向けて + OTに向けての発信



観察チェックリストの作成



- 特別支援教育に関わる作業療法士の評価能力の向上
- 長期的には事例を継時的に追うことで、作業療法の効果を示すことにつなげる

作業療法観察チェックリスト開発

（目的）

- ① 特別支援教育に関わる作業療法士の評価能力の向上
- ② 長期的には事例を継時的に追うことで、作業療法の効果を示すことにつなげる

（主な対象児）

地域の小学校に在籍する
配慮が必要な児童

（用途）

観察チェックリストは学校訪問経験の少ない作業療法士に観察の視点を提供するとともに、支援効果を客観的に示すことができるもの。

特別支援教育における 作業療法観察チェックリスト開発

〈教科〉

「国語」「算数」「体育」
「図画・工作」「音楽」

〈学習の基礎〉

「読む」「書く」「授業態度」
「話す・伝える」
「聞く・理解する」

〈その他〉

「環境」

算数の授業を参観



「算数」
+
学習の基礎
+
「環境」

環境

時間目

主訴

学校周囲の環境	(俯瞰図)
教室の場所	
先生(人 女/男 歳くらい)	
クラスの人数	
喋っている子の人数 /	
動いている子の人数 /	
対象児の位置(俯瞰図)	
※席順、黒板などを記載	

以下の項目について、当てはまるものにチェックしてください。

観察された	されなかった	項目	影響あり	?	聴取	自由コメント(状況等)
<人的環境>						
1	<input type="checkbox"/>	クラスメイトからの関わり(多い・少ない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	過干渉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	干渉なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	援助される	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	<input type="checkbox"/>	触れられる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	<input type="checkbox"/>	粗雑な対応をされる(邪険、無視など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	<input type="checkbox"/>	特定の対象児がいる(好き・気になるなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	<input type="checkbox"/>	クラスメイトへの関わり(多い・少ない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	<input type="checkbox"/>	過干渉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10	<input type="checkbox"/>	干渉なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	<input type="checkbox"/>	援助する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	<input type="checkbox"/>	触れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13	<input type="checkbox"/>	粗雑な対応をする(邪険、無視など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14	<input type="checkbox"/>	特定の対象児がいる(好き・気になるなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響あり	?	聴取	自由コメント(状況等)
<先生>						
1	<input type="checkbox"/>	全体指導方法の特徴がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		全体への発信(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		対象児への直接的な関わり(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		対象児の特性に応じた関わり(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	話し方の特徴がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		速度(早い・遅い・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		大きさ(大きい・小さい・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		声のトーン(高い・低い・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ジェスチャー(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		めりはりが(ある・なし・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		説明量(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

3	<input type="checkbox"/>	板書に特徴がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		板書の量(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		文字(大きい・小さい・見やすい・見にくい)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		色分け(多い・少ない・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	整理されていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響	?	聴取	自由コメント(状況等)
<掲示物・黒板>						
1	<input type="checkbox"/>	黒板の周りに掲示物が多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	目につきやすい掲示物がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	黒板周りが整理されていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響	?	聴取	自由コメント(状況等)
<特別教室>						
1	<input type="checkbox"/>	特別教室までの移動距離が遠い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	分かりにくい場所に特別教室がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	廊下に掲示物が多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響	?	聴取	自由コメント(状況等)
<音>						
1	<input type="checkbox"/>	室外からの音が気になる教室である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	室内の音が気になる(騒がしい)教室である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		声(大・小・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		声のトーン(高い・低い・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		先生・発表者の声が聞き取りにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響	?	聴取	自由コメント(状況等)
<座席>						
1	<input type="checkbox"/>	対象児の座席が適切でない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		黒板からの距離(遠い・近い・適度)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

はい	いいえ	項目	影響	?	聴取	自由コメント(状況等)
<その他>						
1	<input type="checkbox"/>	給食の匂いがする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	教室内が変化(動き・音)に乏しい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	クラス全体の物品管理が粗雑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ロッカーが整理されている(いない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		机周りが整理されている(いない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	対象児の物品管理が粗雑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ロッカーが整理されている(いない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		机周りが整理されている(いない・普通)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

その他

成果と課題

課 題

- 市町村の行政職としての特別支援教育への参画の方が安定雇用につながっている（特に、小さな市町村）。しかし、中心は就学前となる。
- 教育は時間雇用や専門家チームとしての活用は増えるが、今の日本の教育システム（学習活動・学校は教諭）では安定雇用にはつながらない。
- 特別支援学校での雇用の大きな課題は、実習助手。特に前例としてPT、OT、STの実習助手としての雇用があるところは難しい。

OT協会への提案

- ガイドラインによりOTが発達障害に、何ができるのか（アセスメント・支援）を示す。医療・保健・教育・福祉
- OTは特別支援教育に**本格的に参画（常勤雇用）**するのか？
後方支援なのか？ ➡ OTの人材育成プログラム、働きかけは変わる
- 特別支援教育に本格的に参画するのであれば、「学校に入る = 教員免許必要」の日本の教育システムを変える必要がある。**OTの資格で学校へ！**
- 教員免許必要であるとするれば、現行のどの免許が適切か（実習助手、自立活動教諭、特別免許状）。特別支援学校限定で良いのか？
- 後方支援とするれば、医療現場にいるOTをどのように教育現場に参加させるのか（金銭補償のシステム）。
- 教育委員会も含めた、行政職としての特別支援教育への参加も考える。

特別支援教育に関わる 重点的スローガン

- 学校教育に参画すべきOTの役割を提案
 - ・ 配置を促進
- 教育関連の法令にかかる領域の作業療法士活用に関して提言・要望
- 教育領域における作業療法養成研修を企画運営